

開校式・入学式打ち合わせ（４月５日（火）） 校長挨拶

新たな歴史の幕開けです。

４月２日（土）Ｊヴィレッジで、Ｆリーグが開幕し、Ｆ１に昇格したいわき湯本高校が出場しました。

本校舎・遠野校舎サッカー部の生徒の頑張り、新たな歴史の始まりを、この目でしっかりと見ながら、私は胸が熱くなりました。

Ｊヴィレッジから、いわき湯本という新しい風が吹きました。

サッカー部の今後のますますの発展・活躍を期待しております。

本日、本校舎、遠野校舎の教職員全員が集まり、開校式・入学式の打ち合わせを行うに当たって、改革室からお二人の管理主事をお迎えしました。

皆さん、どうぞよろしく申し上げます。

高校教育は大きな変化の中にあり、その一つとして、県立高校改革があり、統合校としてのいわき湯本高校の開校があります。

では、大きな変化の一つに位置づけられる、湯本高校と遠野高校が統合した、いわき湯本高校が開校するに当たって、ポイントとなることは何でしょうか。

「３・７・３０」の法則という、クラスづくりをするうえで大切にすべきことをまとめた考え方があります。

何事もはじめが肝心。

クラスづくりで大切なのは最初の１か月です。

３日、７日、３０日を節目に、新しいクラスづくりに向け、気を抜かず、徹底的にやり抜く、というのが「３・７・３０」の法則です。

いわき湯本高校の開校、新しい学校づくりも同じです。

はじめよければすべてよし。

昨年春、統合校として新たに開校した、小名浜海星高校、喜多方高校の開校式、入学式を取り上げた地元紙の見出しを拾ってみると・・・

「新たな歴史幕開け」「地域担う人材育成」「統合校新たな歴史」「挑戦する勇気を」「幕開け」「キャリア教育を実践」等々

何事もはじめが肝心。

はじめよければすべてよし。

始業式・開校式・入学式は、新しい学校づくりに向けて、よいスタートを切るために、非常に重要です。

心を込めて、丁寧に、本校舎と遠野校舎の2・3年生とともに始業式・開校式を行い、引き続き、心を込めて、丁寧に、入学式を行い、新入生を迎え入れましょう。

いわき湯本高校の開校。

「3・7・30」の法則。

最初の1か月が大切。

始めよければすべてよし。

本日の打ち合わせがいわき湯本高校のよいスタートにつながるよう、改革室のお二人、本校舎、遠野校舎の教職員の皆さん、どうぞよろしく願います。